2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月13日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東
コード番号 5070 URL <https://ir.draft.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 荒浪 昌彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 吉野 竜大 (TEL) 03-5412-1001
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,395	△49.8	△329	—	△334	—	△222	—
2024年12月期第1四半期	2,777	74.6	302	—	289	—	185	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △223百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 193百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年12月期第1四半期	円 銭 △22.10	円 銭 —
2024年12月期第1四半期	18.42	18.35

(注) 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年12月期第1四半期	百万円 6,035	百万円 3,726	% 61.4
2024年12月期	6,458	4,070	62.7

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 3,708百万円 2024年12月期 4,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,600	△31.2	△260	—	△285	—	△296	—	△29.47
通期	13,300	8.3	1,150	12.4	1,110	9.1	670	3.7	66.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期1Q	10,043,600株	2024年12月期	10,043,600株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年12月期1Q	一株	2024年12月期	一株
-------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期1Q	10,043,600株	2024年12月期1Q	10,043,303株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その記載内容を当社として保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下、「当第1四半期」）におけるわが国経済は、物価上昇や米国の政策動向の影響など不透明な状況が見られるものの、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループは、インテリア・建築・プロダクト・ブランディングなど、デザインを軸に分野横断的な活動を行っており、特定の市場に属してはおりませんが、最も近接しているディスプレイ市場は、景気動向を反映して概ね堅調であると認識しております。インテリアデザイン、建築デザイン等、デザインの力で空間に新たな価値を創出するニーズは高く、当第1四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、良好であったと考えております。

このような状況下、当社グループは、収益化と価値創造を循環させるプロジェクトタイプ戦略を基本方針としてデザイン事業に取り組んでまいりました。プロジェクトタイプ戦略とは、当社グループが実施するプロジェクトをレギュラープロジェクト（注1）、プロポーザルプロジェクト（注2）、リーディングプロジェクト（注3）の3つに分類し、特色の違う3つのプロジェクトの相乗効果で事業拡大のサイクルを生み出す取り組みです。世の中に新たなデザインの価値を提案する又は新たな事業の形を創り出す役割は、当社内の独自組織として設置している「山下泰樹建築デザイン研究所」（本年5月に法人化）が中心となって担い、リーディングプロジェクト又はプロポーザルプロジェクトとして事業化に取り組みます。リーディングプロジェクトやプロポーザルプロジェクトで得られた評価、知見及び成果はレギュラープロジェクトへ還元し、“新たな通常業務”として当社グループの収益基盤の強化と事業拡大を実現いたします。

これらの取り組みにより事業全体は順調に拡大しておりますが、かねてより課題と認識している四半期ごとの売上高の偏りが解消されず、当第1四半期の売上高は、1,395百万円となりました。これは当社計画値を上回るものの、前年同期の売上高が特に高かったこともあり、前年同期比は50.2%となっております。売上総利益は、売上高の水準が低かったことに加え、利益率の高い「デザイン設計案件」が前年同期に比べて少なかったこと等から、382百万円（前年同期比41.8%）となりました。一方で販売費及び一般管理費は、人員の増加及び昇給の影響により人件費を中心に増加し、711百万円（同116.1%）となりました。この結果、営業利益は前年同期から631百万円減少し、329百万円の損失となりました。営業外収益及び支払利息・為替差損等の営業外費用を加減算した経常利益は334百万円の損失（前年同期から624百万円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222百万円の損失（同407百万円の減少）となりました。

※ 用語解説

- (注) 1. レギュラープロジェクトは、クライアントからの依頼により獲得する受注型プロジェクトで、高い評価を得ているオフィスデザイン等、当社グループの業績の基盤を形成しております。
2. プロポーザルプロジェクトは、レギュラープロジェクトとリーディングプロジェクトの中間に位置し、当社グループが自ら企画・提案し、場合によっては先行投資を行うプロジェクトで、受注型とは異なる収益モデルを実現します。
3. リーディングプロジェクトは、大規模な建築コンペティションや設計競技を通して挑戦するプロジェクトで、新たなデザイン領域を開拓し、当社グループの設計技術及びブランド価値を向上させる取り組みです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、6,035百万円となり、前連結会計年度末と比較して423百万円減少いたしました。これは、主に仕掛販売用不動産が772百万円、前払費用が430百万円、繰延税金資産が100百万円増加した一方、現金及び預金が945百万円、売掛金及び契約資産が715百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、2,308百万円となり、前連結会計年度末と比較して79百万円減少いたしました。これは、主に短期借入金が583百万円増加した一方、買掛金が236百万円、未払法人税等が251百万円、未払消費税等が116百万円、長期借入金が49百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、3,726百万円となり、前連結会計年度末と比較して343百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失222百万円を計上したこと及び配当金の支払い120百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月14日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,147,564	1,201,886
売掛金及び契約資産	1,653,140	937,153
商品	81,854	73,078
原材料及び貯蔵品	134,683	113,157
仕掛販売用不動産	—	772,427
その他	152,303	569,903
流動資産合計	4,169,546	3,667,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	797,947	810,916
減価償却累計額	△179,755	△187,176
建物及び構築物 (純額)	618,191	623,740
建設仮勘定	896,061	886,693
その他	364,716	374,200
減価償却累計額	△223,885	△236,826
その他 (純額)	140,831	137,373
有形固定資産合計	1,655,084	1,647,807
無形固定資産		
のれん	80,783	64,626
ソフトウェア	11,262	13,931
ソフトウェア仮勘定	44,990	44,990
その他	1,852	1,819
無形固定資産合計	138,887	125,367
投資その他の資産		
敷金及び保証金	360,369	358,166
繰延税金資産	71,923	172,821
その他	62,474	63,417
投資その他の資産合計	494,767	594,405
固定資産合計	2,288,739	2,367,580
資産合計	6,458,285	6,035,187

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	562,075	326,020
短期借入金	287,499	870,831
1年内返済予定の長期借入金	296,040	264,982
未払法人税等	255,857	4,743
賞与引当金	—	58,851
プロジェクト損失引当金	7,100	29,399
プロジェクト補償引当金	7,000	4,000
その他	454,938	281,472
流動負債合計	1,870,509	1,840,300
固定負債		
長期借入金	219,021	169,190
資産除去債務	298,575	299,485
固定負債合計	517,596	468,675
負債合計	2,388,105	2,308,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,399	807,399
資本剰余金	787,399	787,399
利益剰余金	2,425,744	2,083,219
株主資本合計	4,020,543	3,678,018
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	31,596	30,152
その他の包括利益累計額合計	31,596	30,152
新株予約権	18,040	18,040
純資産合計	4,070,179	3,726,211
負債純資産合計	6,458,285	6,035,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,777,159	1,395,127
売上原価	1,861,740	1,012,678
売上総利益	915,419	382,448
販売費及び一般管理費	613,286	711,994
営業利益又は営業損失(△)	302,132	△329,545
営業外収益		
受取利息	7	845
保険解約返戻金	604	106
その他	222	633
営業外収益合計	834	1,585
営業外費用		
支払利息	5,699	3,802
支払手数料	861	1,771
為替差損	6,420	755
営業外費用合計	12,981	6,330
経常利益又は経常損失(△)	289,985	△334,291
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	289,985	△334,291
法人税、住民税及び事業税	112,285	△11,392
法人税等調整額	△7,318	△100,897
法人税等合計	104,967	△112,290
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185,018	△222,000
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	185,018	△222,000

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	185,018	△222,000
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,047	△1,443
その他の包括利益合計	8,047	△1,443
四半期包括利益	193,065	△223,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,065	△223,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、デザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	37,008千円	33,502千円
のれん償却額	16,156千円	16,156千円

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2025年3月27日開催の取締役会決議に基づき、下記のとおり子会社を設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、2024年2月13日に開示しました「中期経営計画FY24-26(事業計画及び成長可能性に関する説明資料)」において、「レギュラープロジェクト」「プロポーザルプロジェクト」「リーディングプロジェクト」の相互連関による成長を目指すこととしております。

これまで、3つのプロジェクトの実行を「ドラフト」という1つのブランドの下で行ってまいりましたが、当社の成長のエンジンとなる「リーディングプロジェクト」を本格的に推進するため、この領域を担う社内組織である山下泰樹建築デザイン研究所を子会社化することといたしました。

2. 子会社の概要

- (1) 名称 : 山下泰樹建築デザイン研究所株式会社
- (2) 所在地 : 東京都港区南青山五丁目6番19号
- (3) 代表者の役職・氏名 : 代表取締役 山下 泰樹
- (4) 事業の内容 : 建築、インテリア、商業施設、オフィス等に関する企画、設計及び監理並びに都市計画、地域計画、環境計画の企画、設計及び建設コンサルティング等
- (5) 資本金 : 105,000千円
- (6) 設立年月日 : 2025年5月1日
- (7) 出資比率 : 当社100%